

もしもの
浸水に
備える

浸水対策用土のう配布

近年は、短時間で局所的に降る豪雨が増えてきています。浸水の恐れがある場合、土のうなどを使って、事前の対応を行えば、被害を軽減することができます。市では、台風の接近時などに、市民を対象として、土のうを配布しています。市ホームページ・SNS等でお知らせしますので、希望者は、危機対策課へ。

台風接近時は混雑
早めの対応を



- ▶配布目的 水害による住宅浸水の防止
- ▶配布数 1世帯20袋まで ※要予約
より多くの市民の皆様に行き渡るよう、ご理解とご協力をお願いします。
- ▶配布場所 土のう倉庫(市民体育館脇 右記参照)
- ▶受付時間 9:00 ~ 17:00
※災害が発生、または発生の恐れがある場合、荒天時は中止
- ▶回収 市による土のうの回収は行っておりません。
※次の災害に備え、直射日光を避けて保管

土のう配布場所

配布場所
土のう倉庫



我が家の
リスクに
備える

ウェブ版 防災マップ

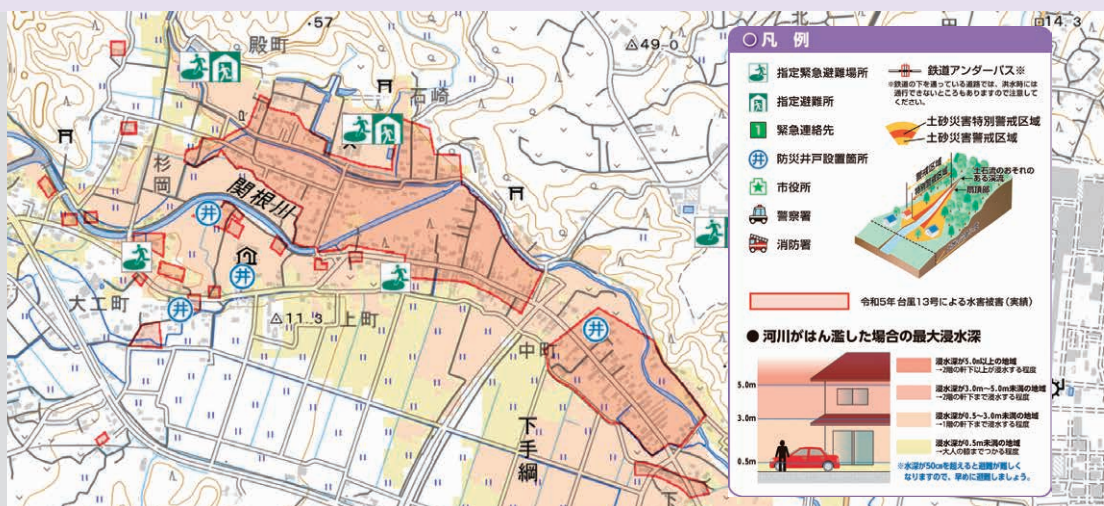
パソコンやスマホから、周辺のハザード情報の確認や避難場所までのルート検索などができる「ウェブ版防災マップ」の運用を開始しました。必要な部分のマップを拡大し、印刷することもできます。家族の防災マップ作成、日頃からの集会所や避難場所の確認、災害の種類に応じた対応など、事前の備えを万全に。

見るだけではなく
歩いてのチェックも



ウェブ版 防災マップ

https://www.city.takahagi.ibaraki.jp/bousai_map/



自分たちで
考え
備える

学校などでの防災訓練

災害はいつ、どこで起きるかわかりません。

だからこそ、大人に言われて動くのではなく

子どもたちが自身で

「今、何が危険か」

「どこへ逃げるべきか」を

主体的に考える力が必要です。

市内の各小中学校では、

地震や風水害を想定した

防災訓練が行われています。

各地でも訓練が行われています。



7/7(火) 松岡小学校 防災訓練

【訓練内容】

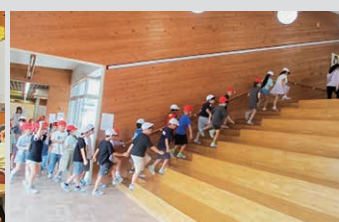
▶ 防災講話

(洪水警報発令)

▶ 1-2年生 垂直避難

▶ 3-4年生 備蓄品配布

▶ 5-6年生 1階の防水作業



寄り添う人
支える人

保護司



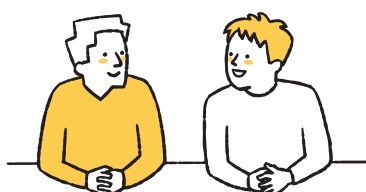
保護司は、法務大臣の委嘱を受け、
犯罪や非行をした人の立ち直りを支える
ボランティアです。

私たちと一緒に活動しませんか。



保護司活動に関心のある方は、下記にお問い合わせください。

【保護観察】



【生活状況の見守り】

罪を犯した人が社会で更生できるように、保護観察官と連携して見守ります。

規則正しい生活を促し、社会の一員として自立した生活を送れるよう、寄り添いながら導いていきます。

【生活環境整備】



【社会復帰のサポート】

刑務所や少年院から社会へ戻る際、住居や就職先など、受け入れ環境を整えることは非常に重要です。

孤立せず、安心して再出発できるように、社会復帰への「土台」を整備します。

【犯罪予防活動】



【地域への啓発】

罪を犯した人が立ち直るには、地域社会の温かい理解と協力が必要です。

犯罪や非行を防ぐとともに、誰もが安心して暮らせる明るい地域を目指します。

■ 問合せ 水戸保護観察所 企画調整課

☎ 029-221-3970

総務課

☎ 23-2119